

安全な自転車利用、県警が表彰

高校生チャリプロの表彰状を手に笑顔を見せる篠山鳳鳴、篠山東雲の高校生たち＝篠山署



篠山鳳鳴、氷上西、篠山東雲の3高 5カ月間無事故・無違反

日ごろの自転車マナーが認められ、学校を代表して表彰を受けた氷上西高校1年のさん、丹波市青垣町佐治、氷上西高校



「歩行者がいたら距離を取ることなどを心がけた。(16歳以上の違反に「青切符」が導入される) 4月の法改正後も無事故・無違反を意識することを引き締めた。約390人が通う篠山鳳鳴も多くが自転車通学。生徒会長のさん(17)

は通学路の城下町に信号機のない交差点が多いことから、細心の注意を払ってきた。「表彰された誇りを自信に、さらに乗り方を見つめ直して地域の安全に貢献したい」とした。

篠山東雲は2年連続の無事故・無違反で「県警交通部長賞」を受賞。生徒会副会長のさん(17)は

「歩行者の迷惑にならない乗り方を徹底し、周りにも呼びかけてきてよかった。生徒会長のさん

(17)は「みんなで一丸とな

丹波地域の篠山鳳鳴▽氷上西▽篠山東雲の3校が5カ月間の無事故・無違反を達成し、「兵庫県警察自転車セーフティプロジェクト(高校生チャリプロ)」で表彰された。

2025年は86校が参加。ルールやマナーの学習と交通安全テストが行われ、8〜12月に無事故・無違反に挑戦した。このうち、篠山鳳鳴と氷上西が、無事故・無違反に加え、交通安全

テストの正答率が平均以上となり「県警本部長賞」を受けた。氷上西は全校生徒の約4割が自転車通学。同校代表の1年さん(16)は片道40〜50分かけて通う。

2026年3月24日

神戸新聞

ったことが成果につながりうれしい。命を守るため、今後も気を付けていきたい」と話していた。